

当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。

Copyrighted materials of the authors.

タイトル：AA 研共同利用・共同研究課題「アジア文字研究基盤の構築(3) —文字研究術語集の構築—」2023 年度
第 3 回研究会

日時：令和 6 年 2 月 11 日（日曜日）午後 13 時 00 分より午後 17 時 00 分

日時：令和 6 年 2 月 12 日（月曜日）午後 10 時 00 分より午後 15 時 00 分

場所：306 マルチセミナー室

報告者名（所属）

2 月 11 日

1) 全員

文字研究の術語に関する討議（1）

「音節表」について荒川が記述案を提示し、メンバーから各文字の見地からコメントを出してもらい、各人の専門とする文字の見地から討議を行った。

2 月 12 日

2) 全員

文字研究の術語に関する討議（2）

午前の部として「文字と性差」について荒川が記述案を提示し、メンバーから各文字の見地からコメントを出してもらい、各人の専門とする文字の見地から討議を行った。

3) 全員

文字研究の術語に関する討議（3）

午後の部として「注音符号」について荒川が記述案を提示し、メンバーから各文字の見地からコメントを出してもらい、各人の専門とする文字の見地から討議を行った。

対面形式で実施したものの、諸般の事情により Zoom による参加者もいた。昨年 11 月に開催した企画展の総括、『漢字文化事典』の紹介、来年度開催の日本漢字学会に関する相談も行った。